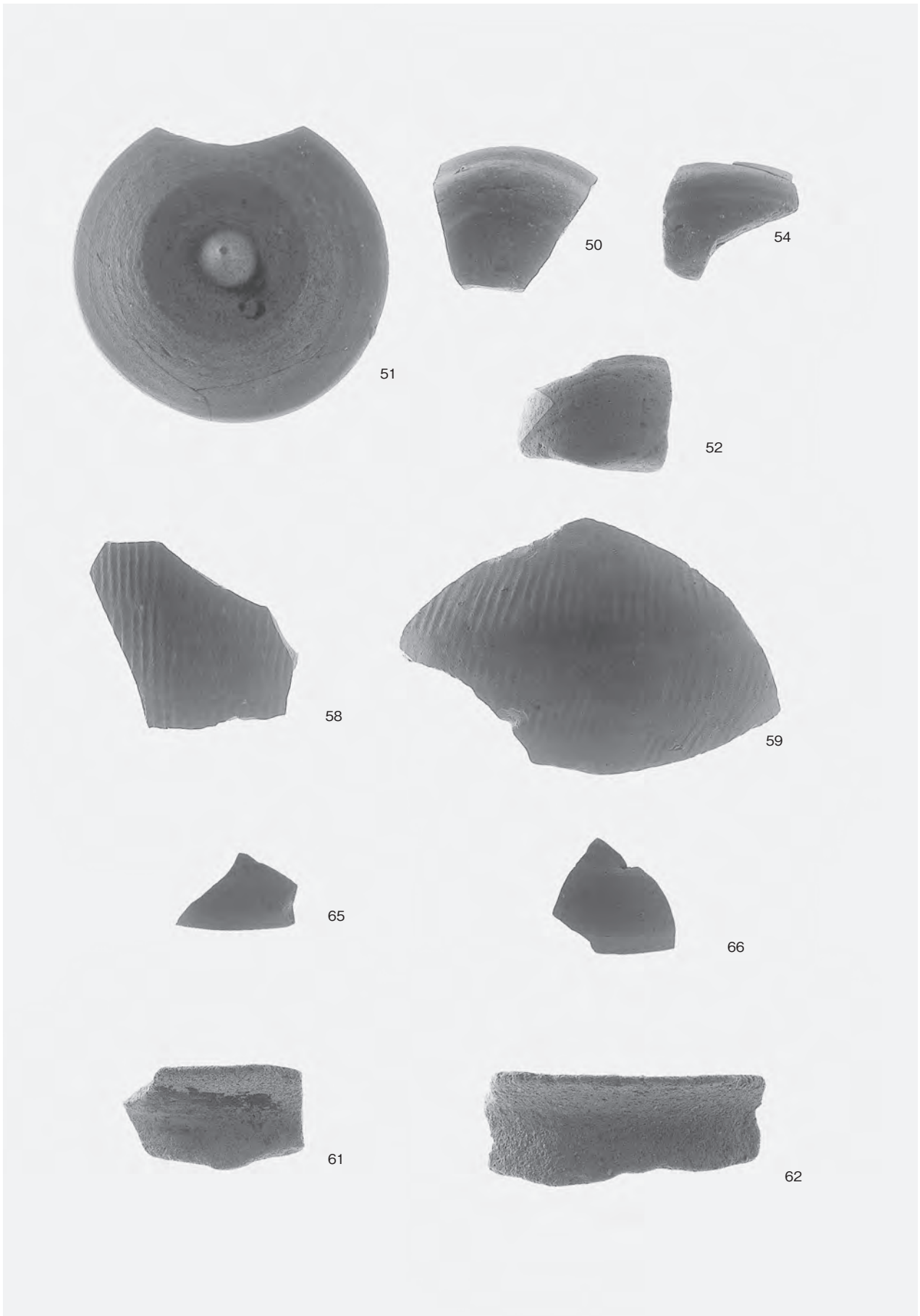


SS7出土土器 (2)



SS8·9 出土土器



1. SS8出土土器 (1)



2. SS8出土土器 (2)



3. SS8出土土器 (3)



4. SS8出土土器 (4)



5. SS8出土土器 (5)



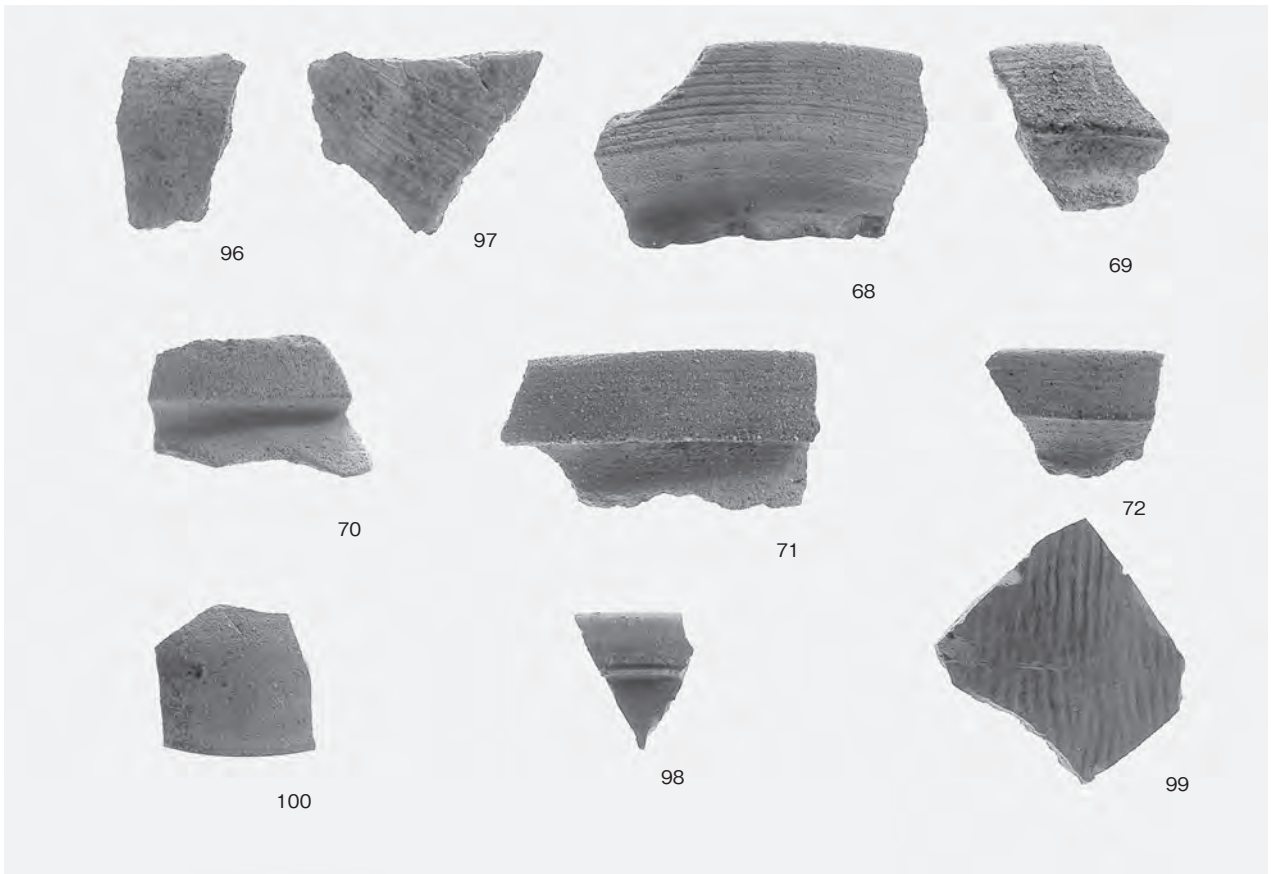
6. SS8出土土器 (6)



7. SS8出土土器 (7)



8. SS8出土土器 (8)



1. SB12、SD1、SK17・18、P146・150・154出土土器



2. SS9出土土器 (1)



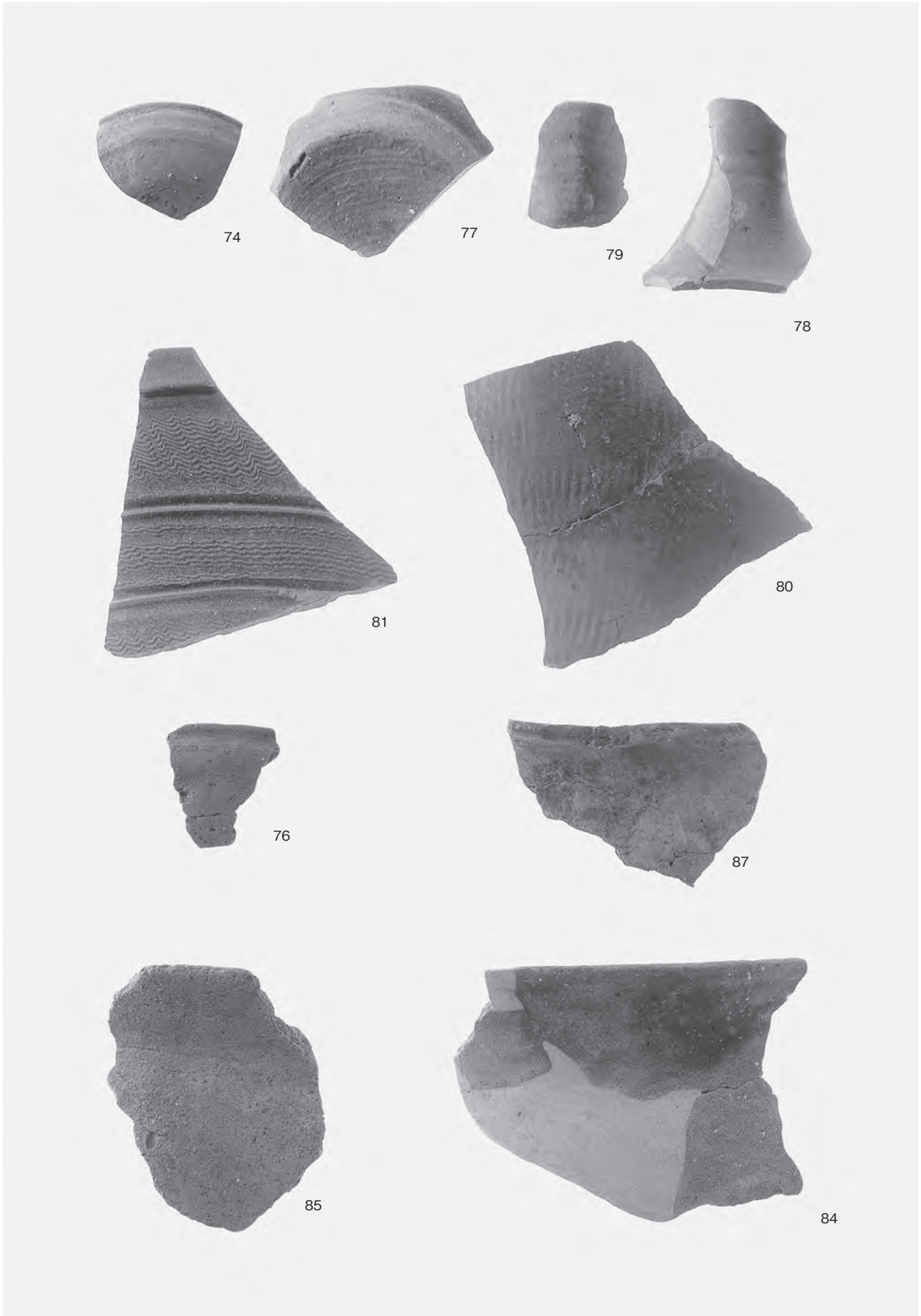
3. 土器溜り1出土土器 (1)



4. SS9出土土器 (2)



5. 土器溜り1出土土器 (2)

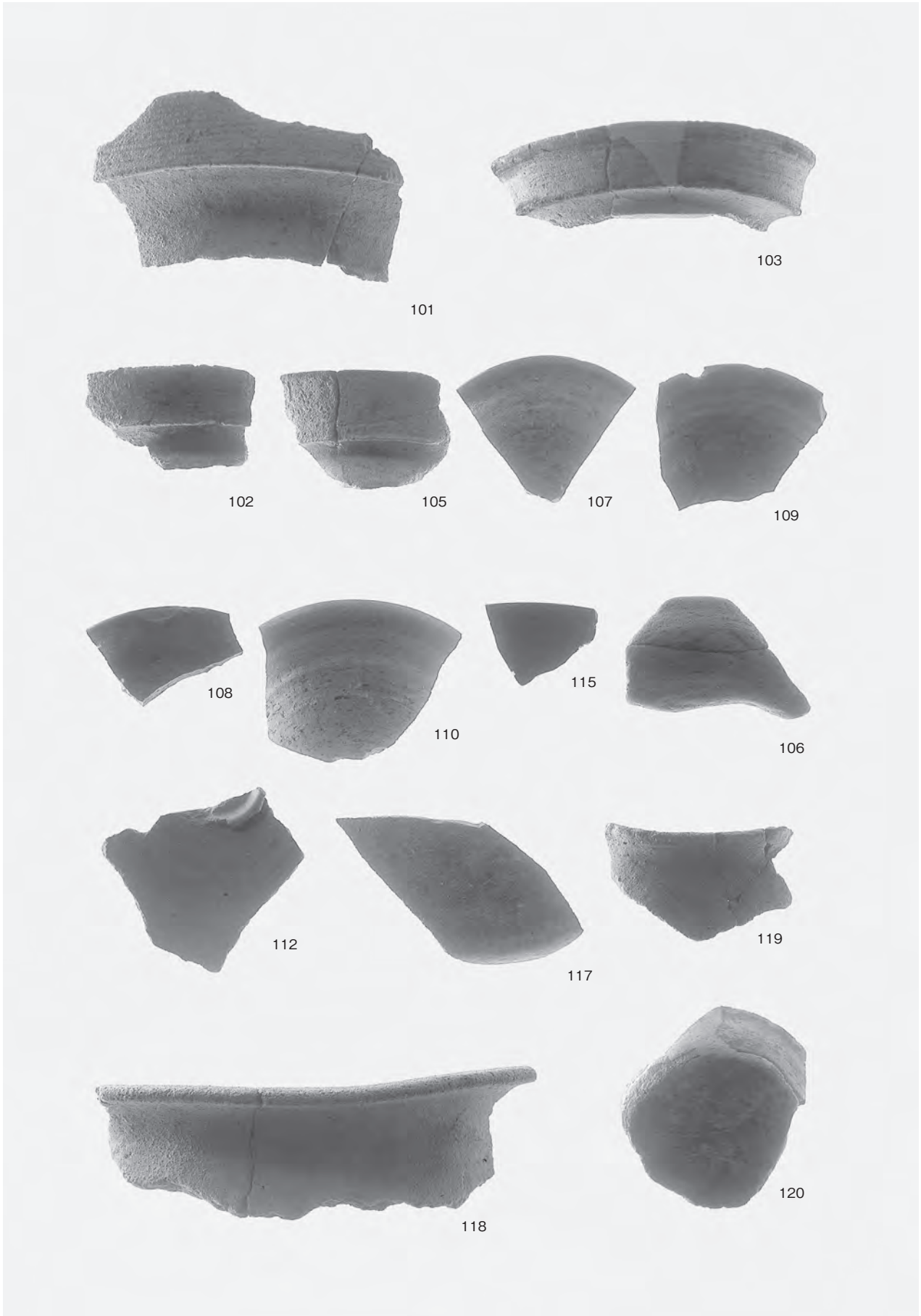


土器溜り1出土土器(3)

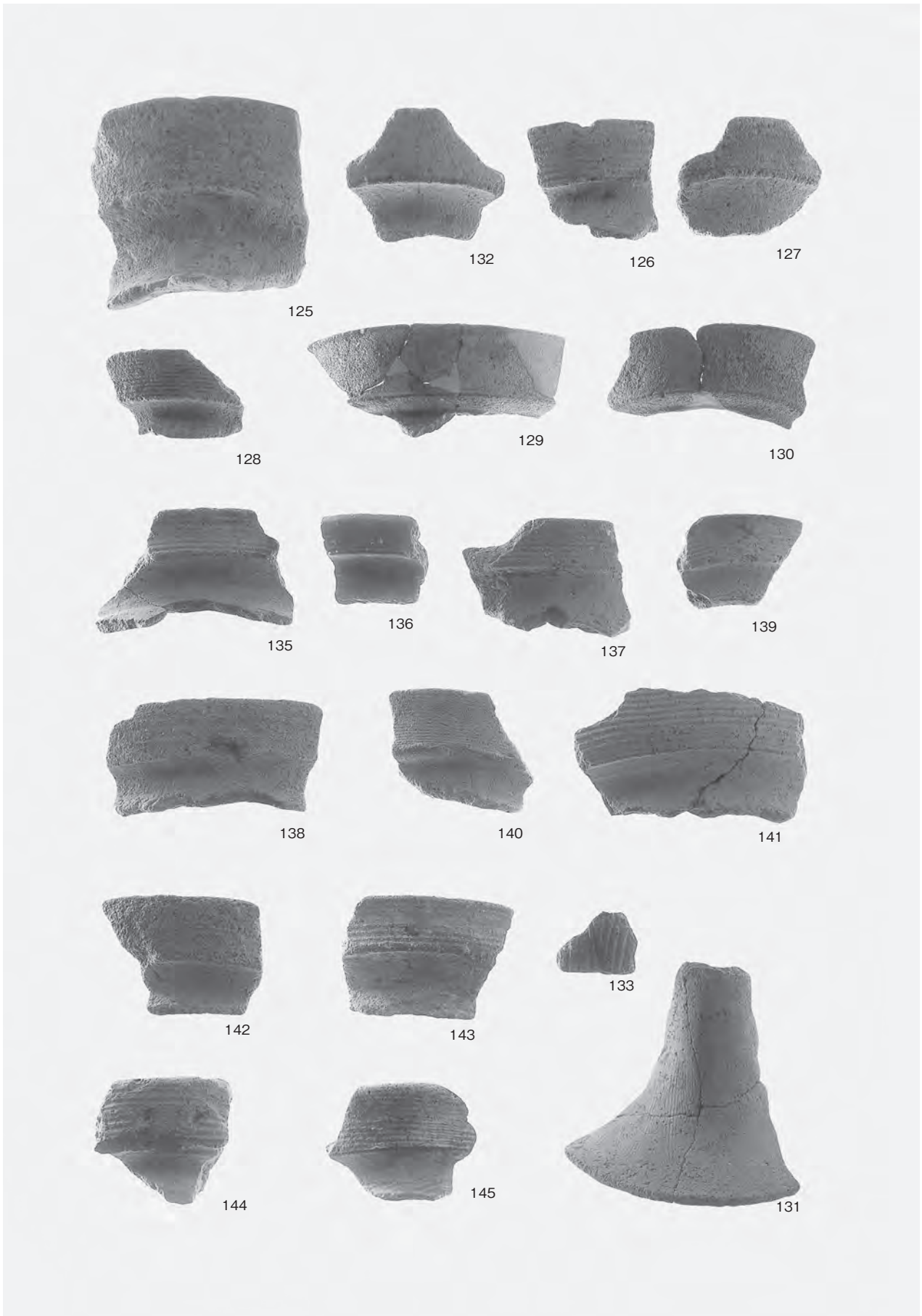


88

土器溜り1出土土器(4)



1区遺構外出土土器(1)



SK24、P162、土器溜り2出土土器



1. 土器溜り1出土土器 (5)



2. 土器溜り1出土土器 (6)



3. 土器溜り1出土土器 (7)



4. 土器溜り1出土土器 (8)



5. 1区遺構外出土土器 (2)



6. 1区遺構外出土土器 (3)



113

1. 1区遺構外出土土器 (4)



111

2. 1区遺構外出土土器 (5)



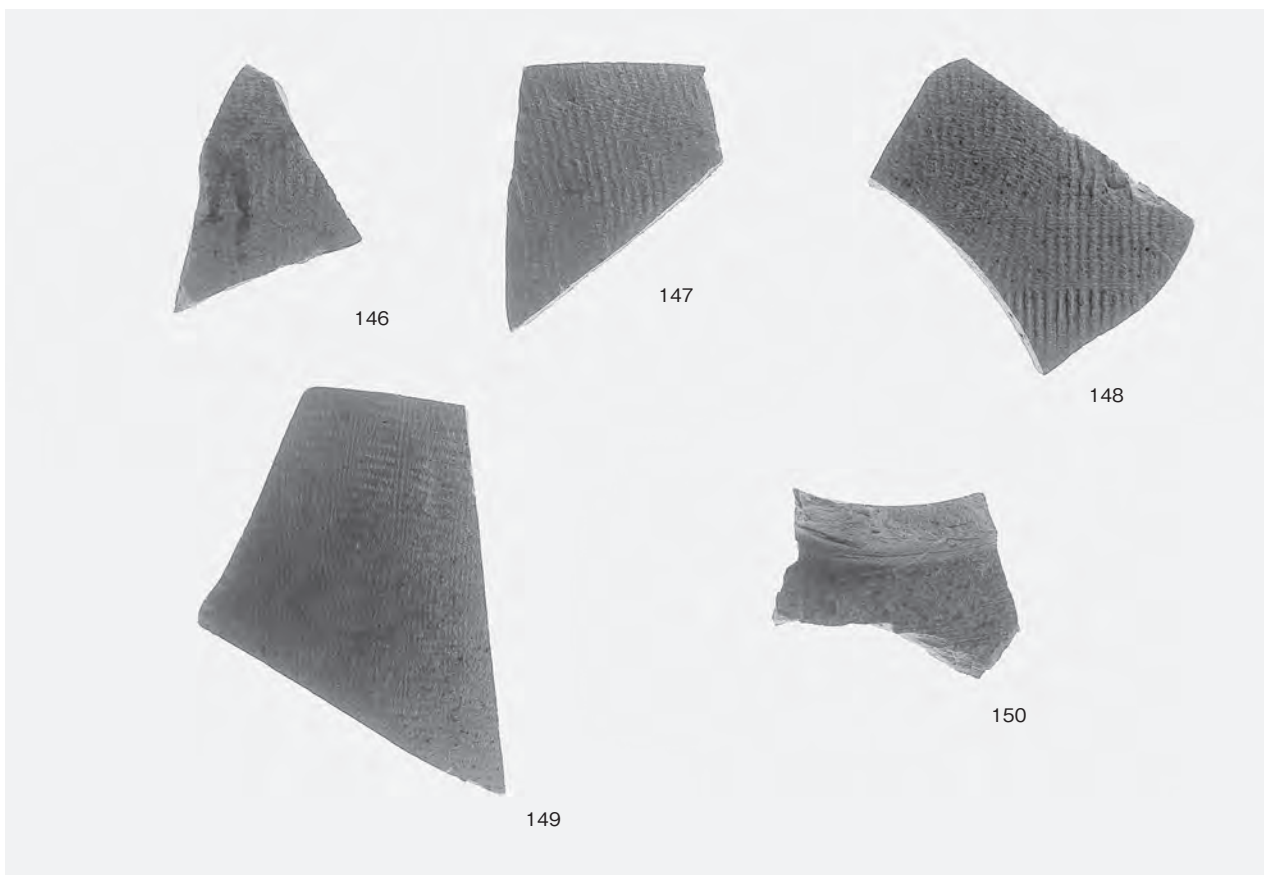
116

3. 1区遺構外出土土器 (6)



134

4. 2区遺構外出土土器 (1)



146

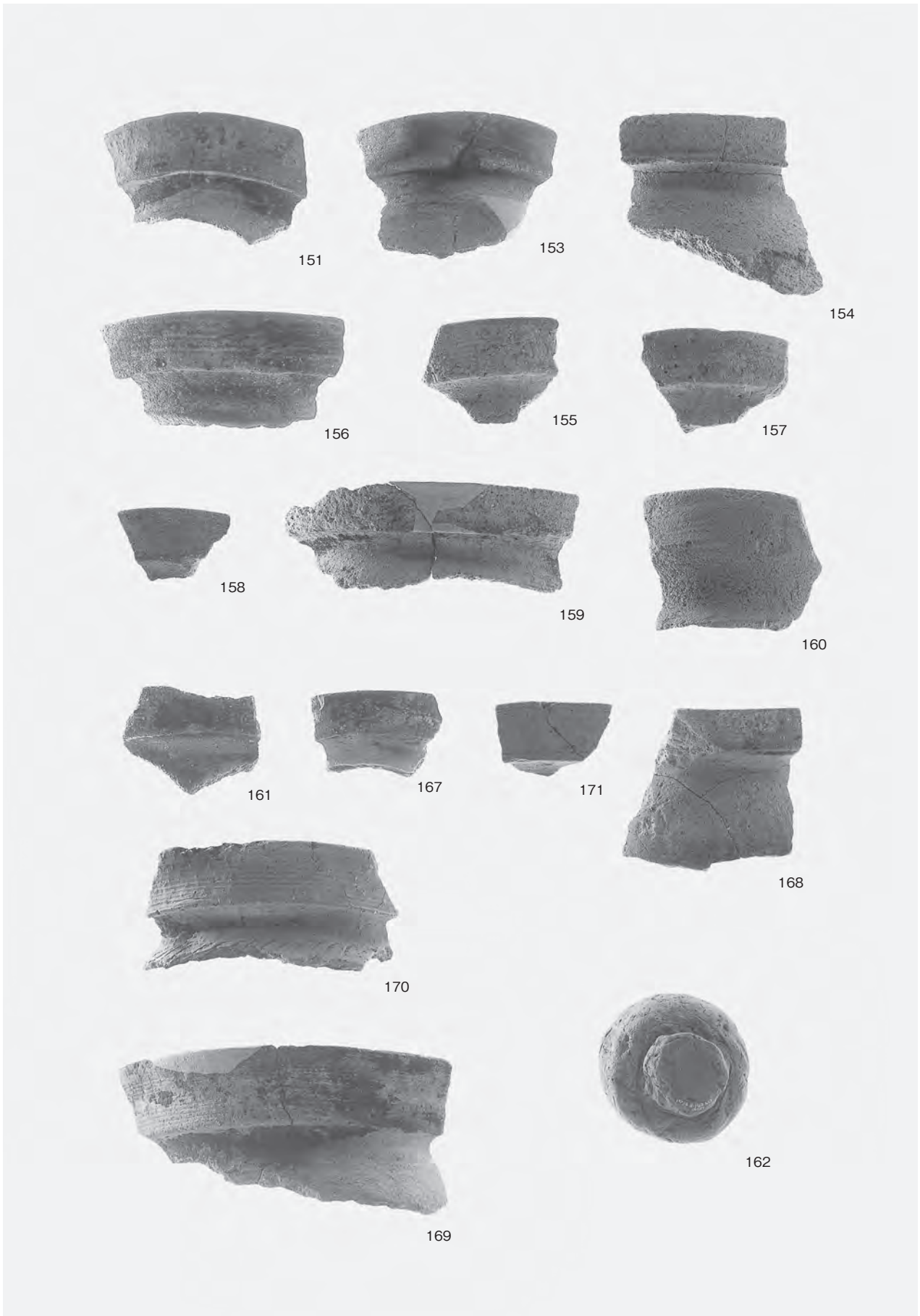
147

148

149

150

5. 2区遺構外出土土器 (2)



SI2・3・7 出土土器

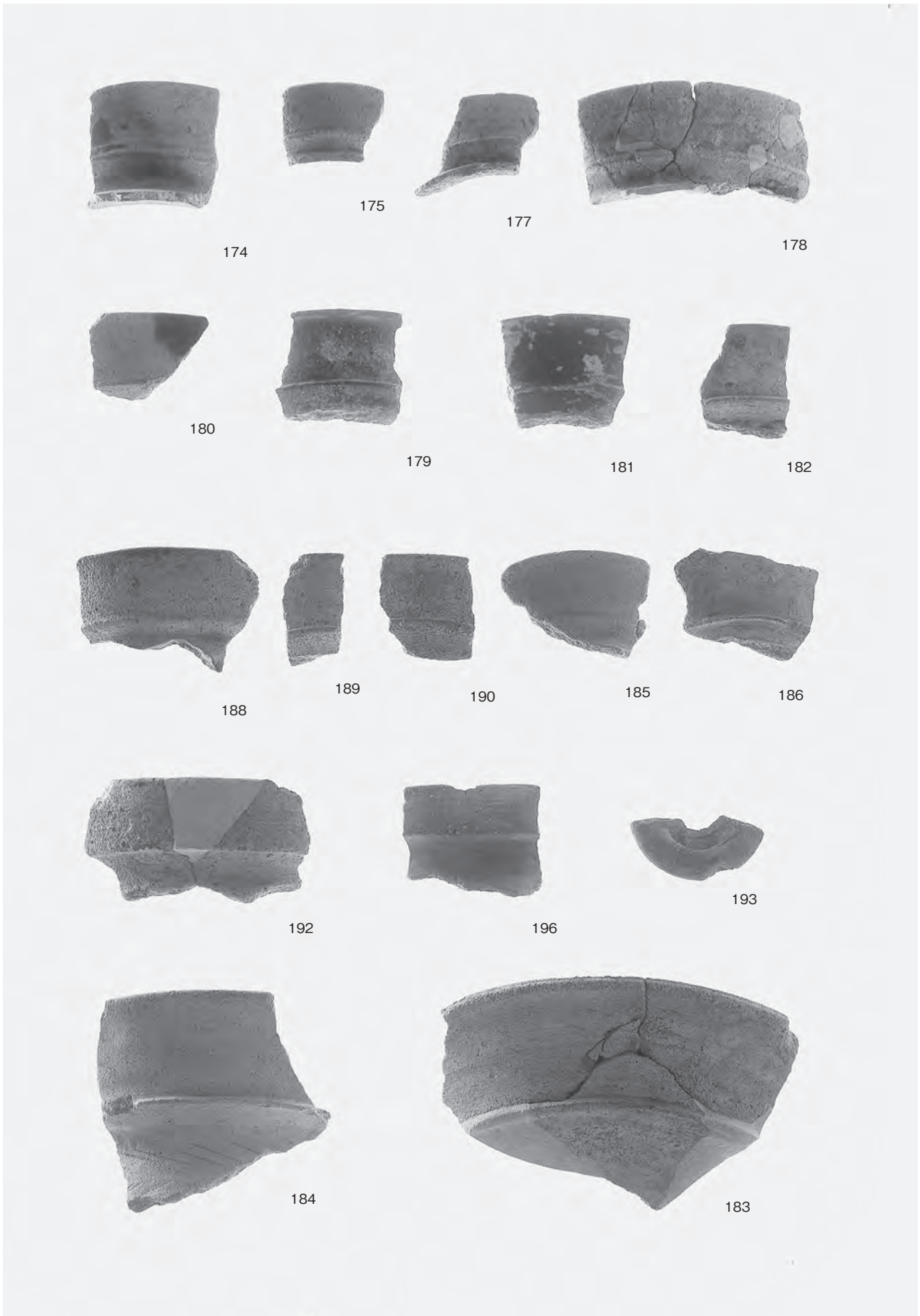


176



173

SI9 出土土器 (1)





191



194



195

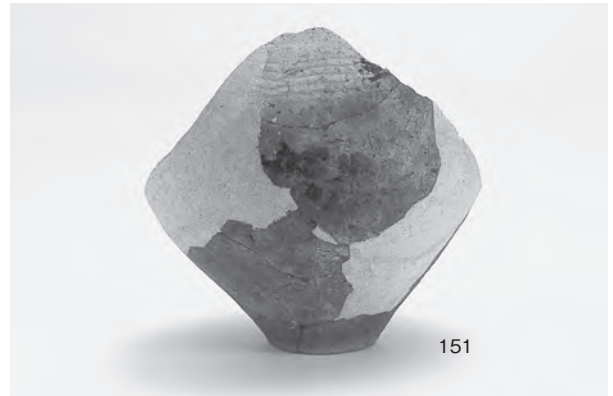
SI13・14出土土器



1. SI9出土土器 (2)



2. SI2出土土器 (1)



3. SI2出土土器 (2)



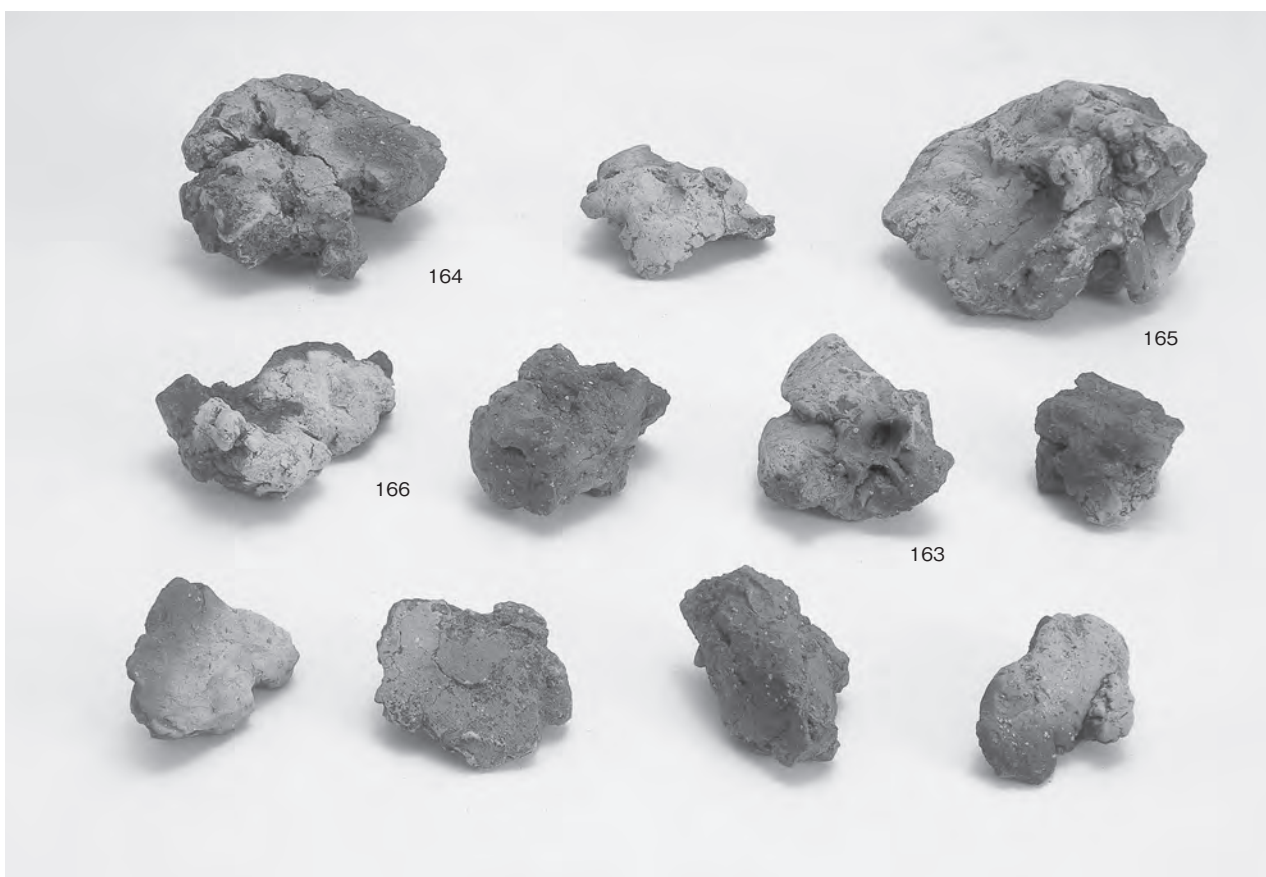
4. SI3出土ミニチュア土器



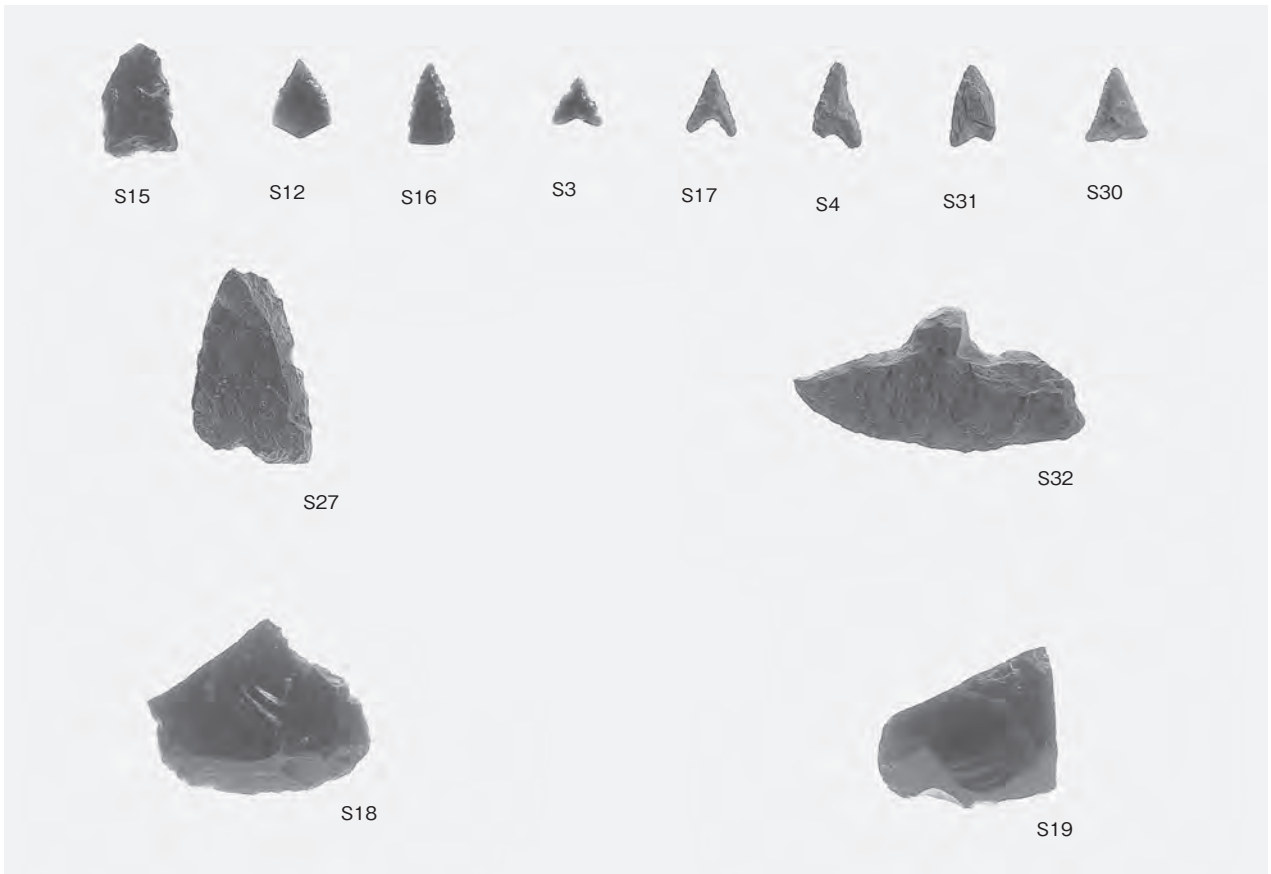
5. SI9出土土器 (3)



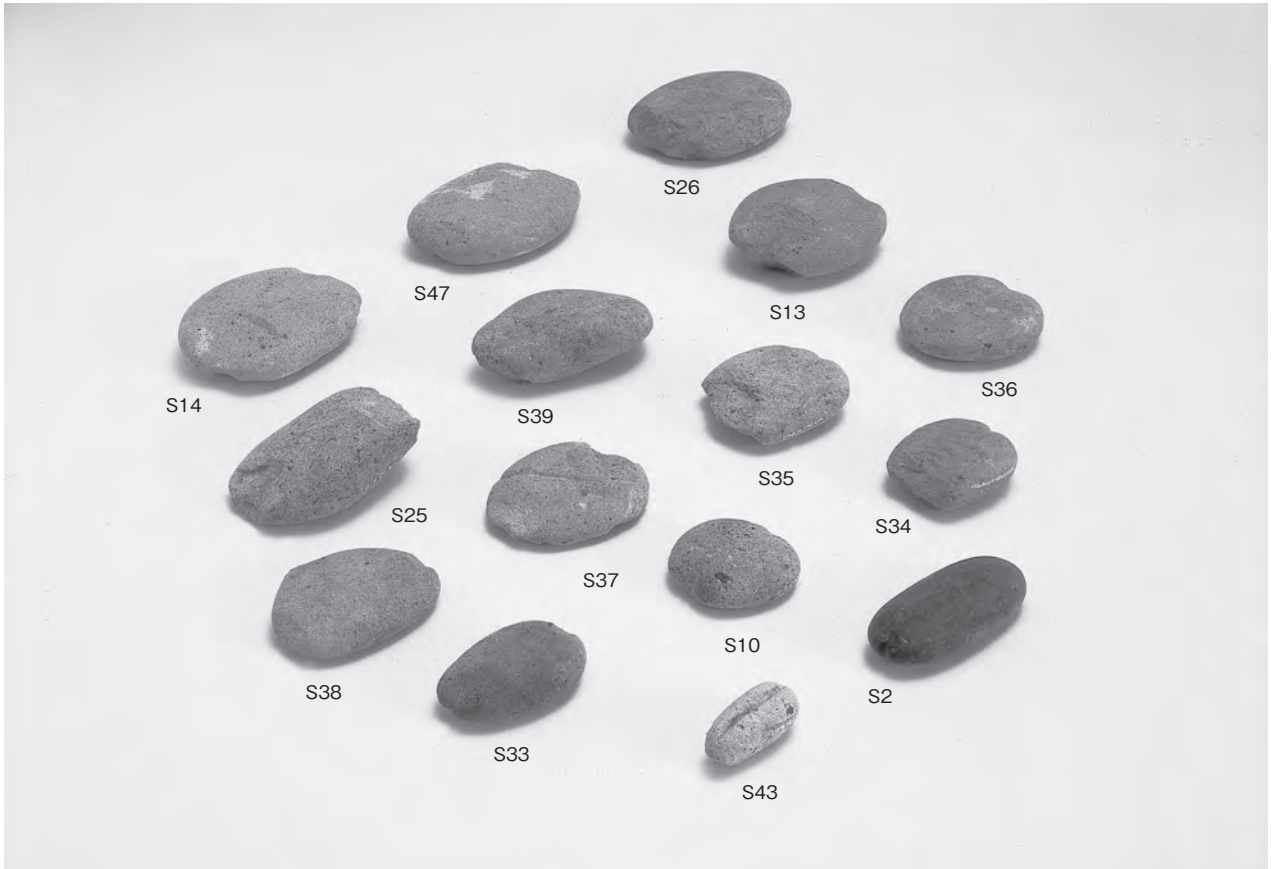
1. 有孔土玉



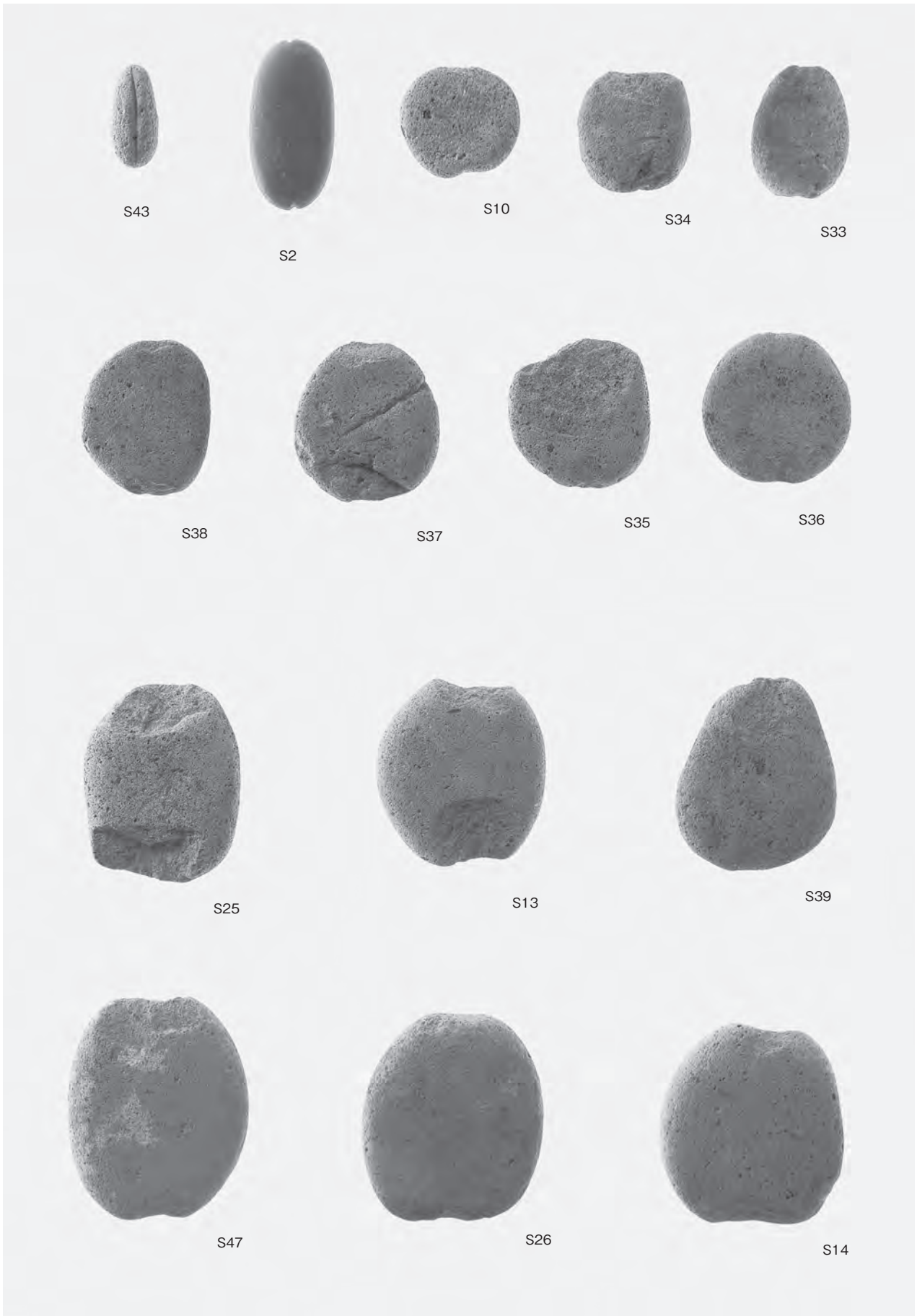
2. 烧成粘土塊



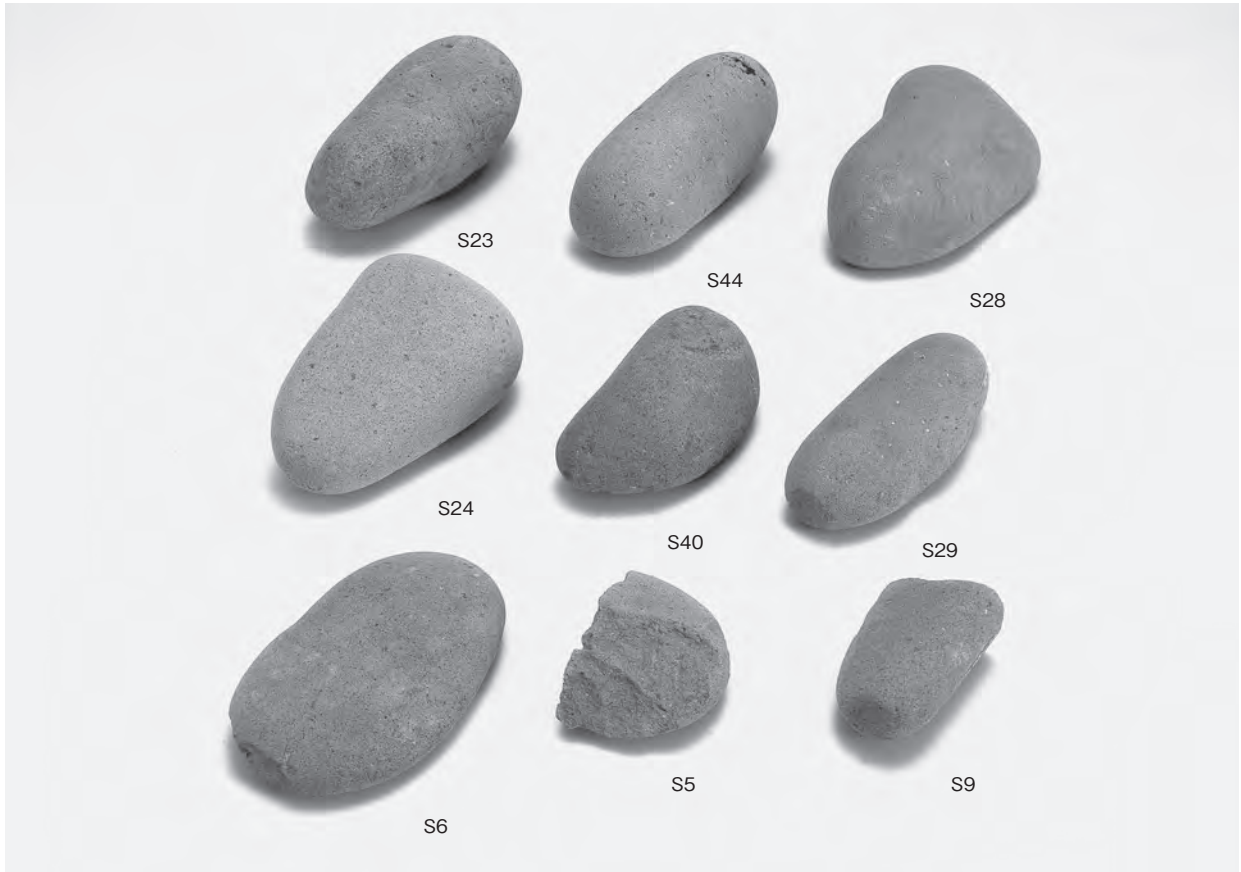
1. 小型剥片石器



2. 石錘 (1)



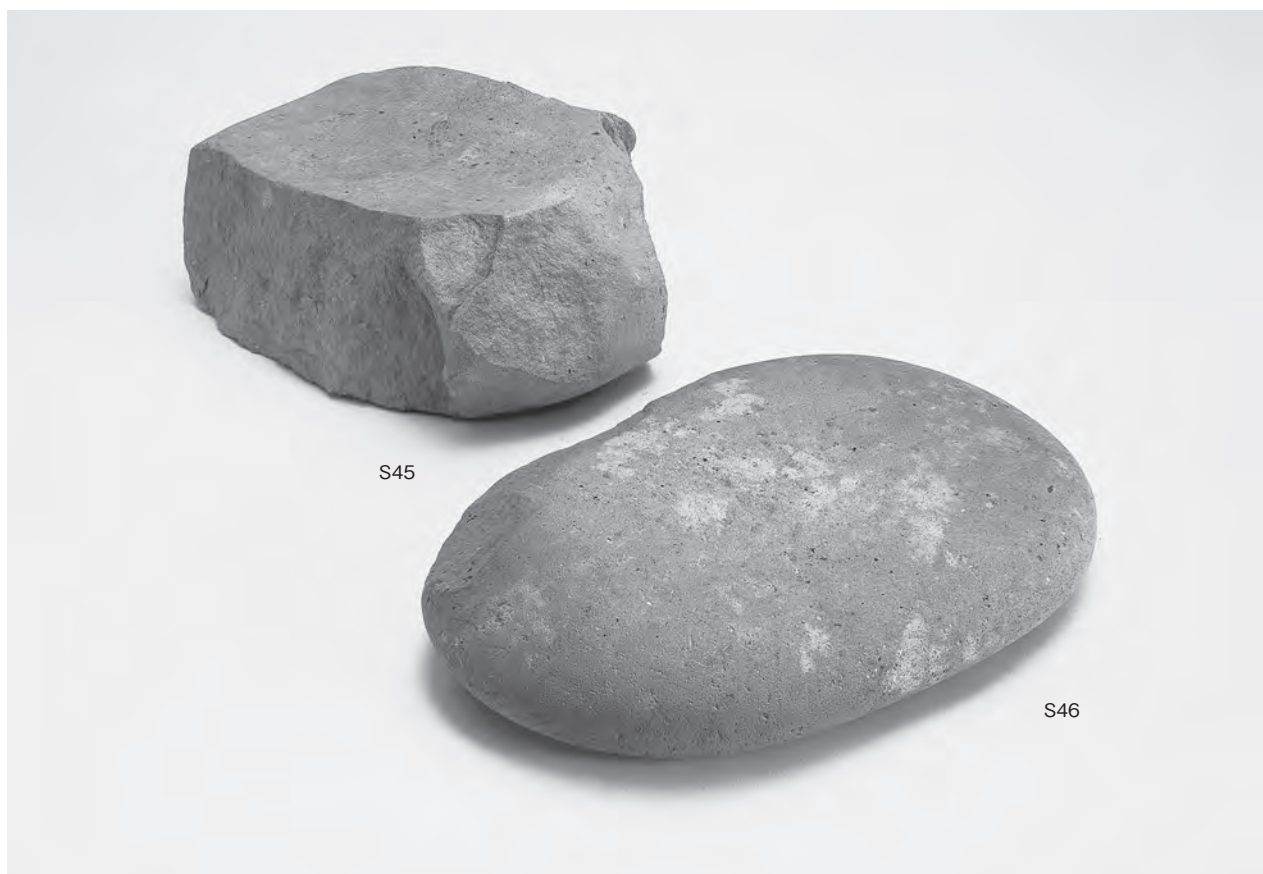
石錘 (2)



1. 敲石 (1)



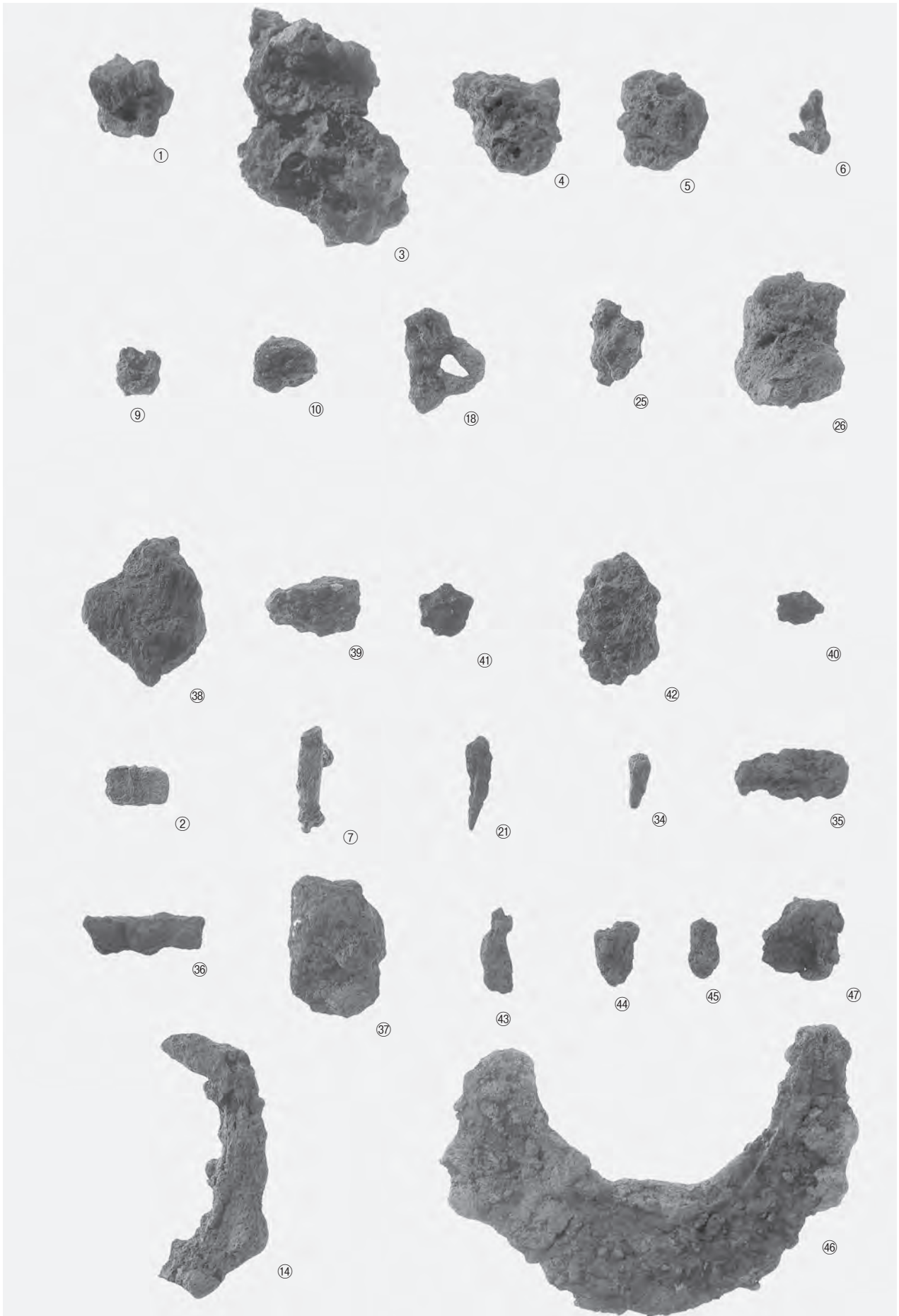
2. 敲石 (2)



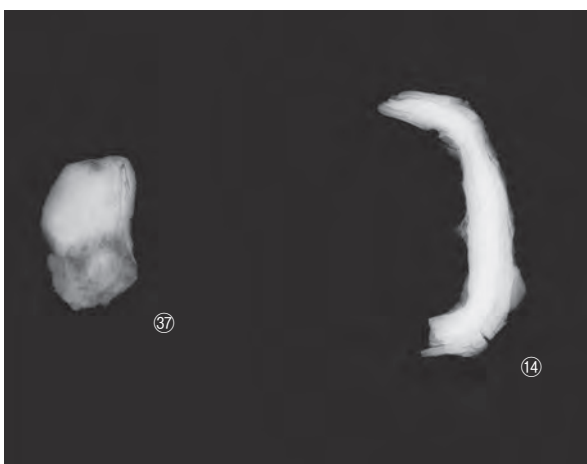
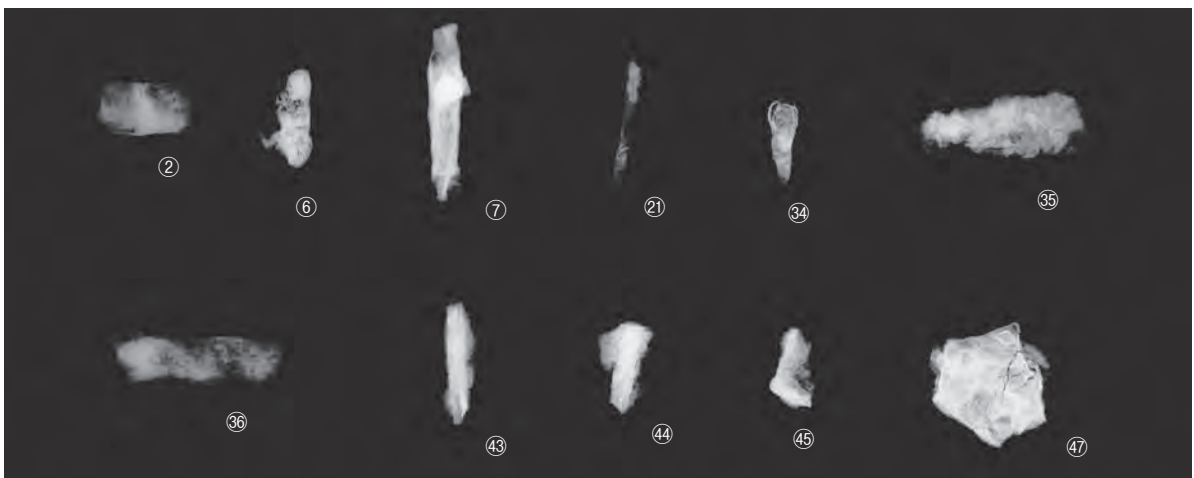
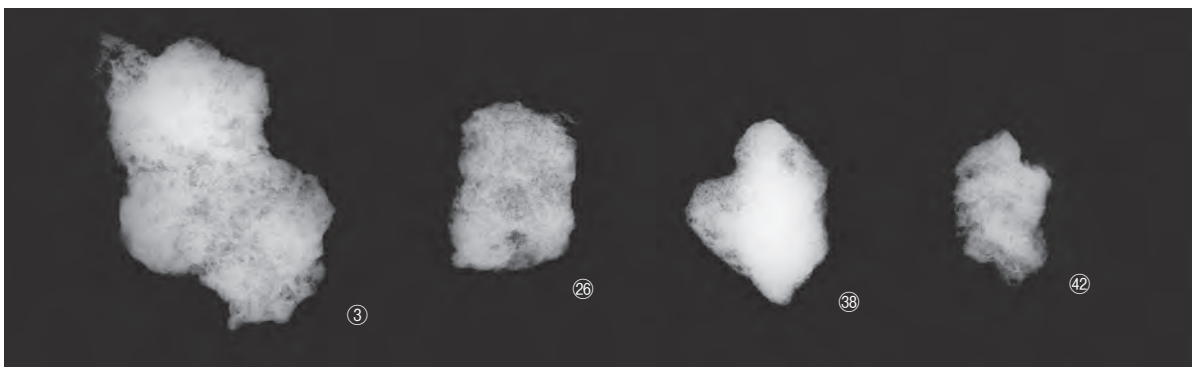
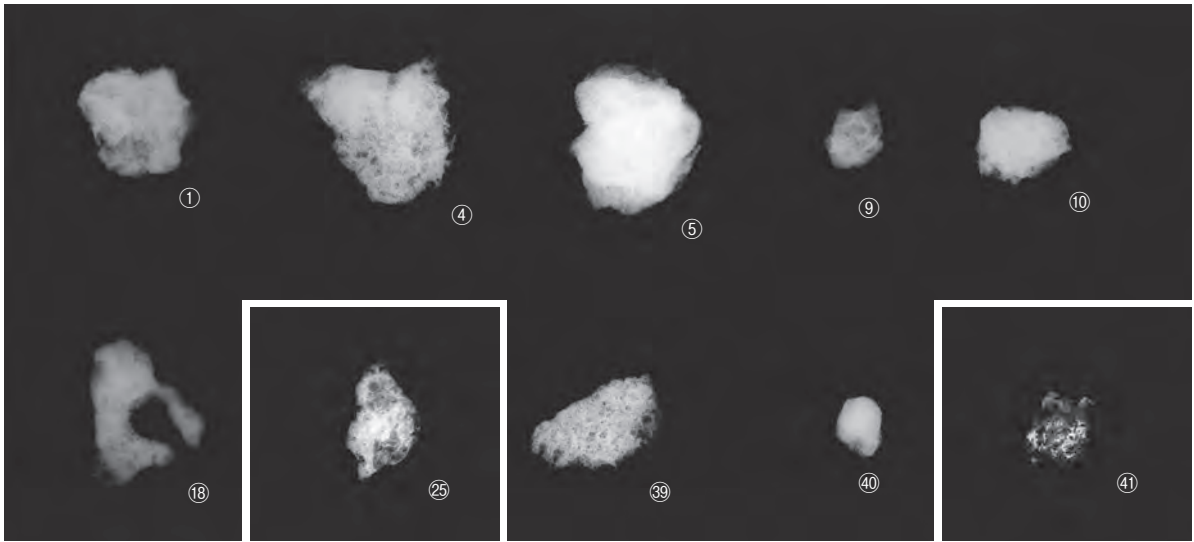
1. 台石



2. 砥石



鉄滓・鉄製品



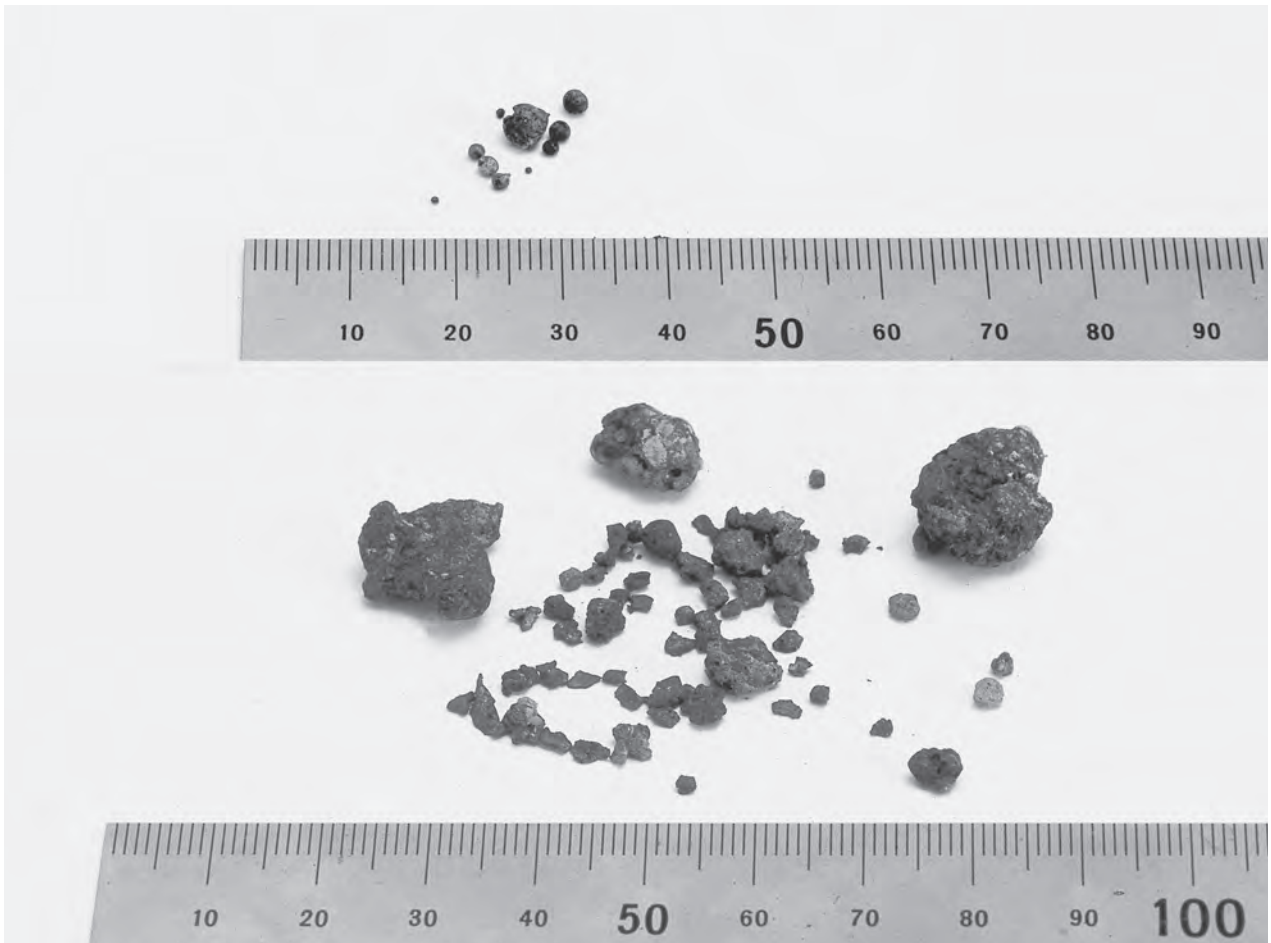
鉄滓・鉄製品 X線写真



1. 鍛冶関連遺物（羽口、被熱粘土塊）

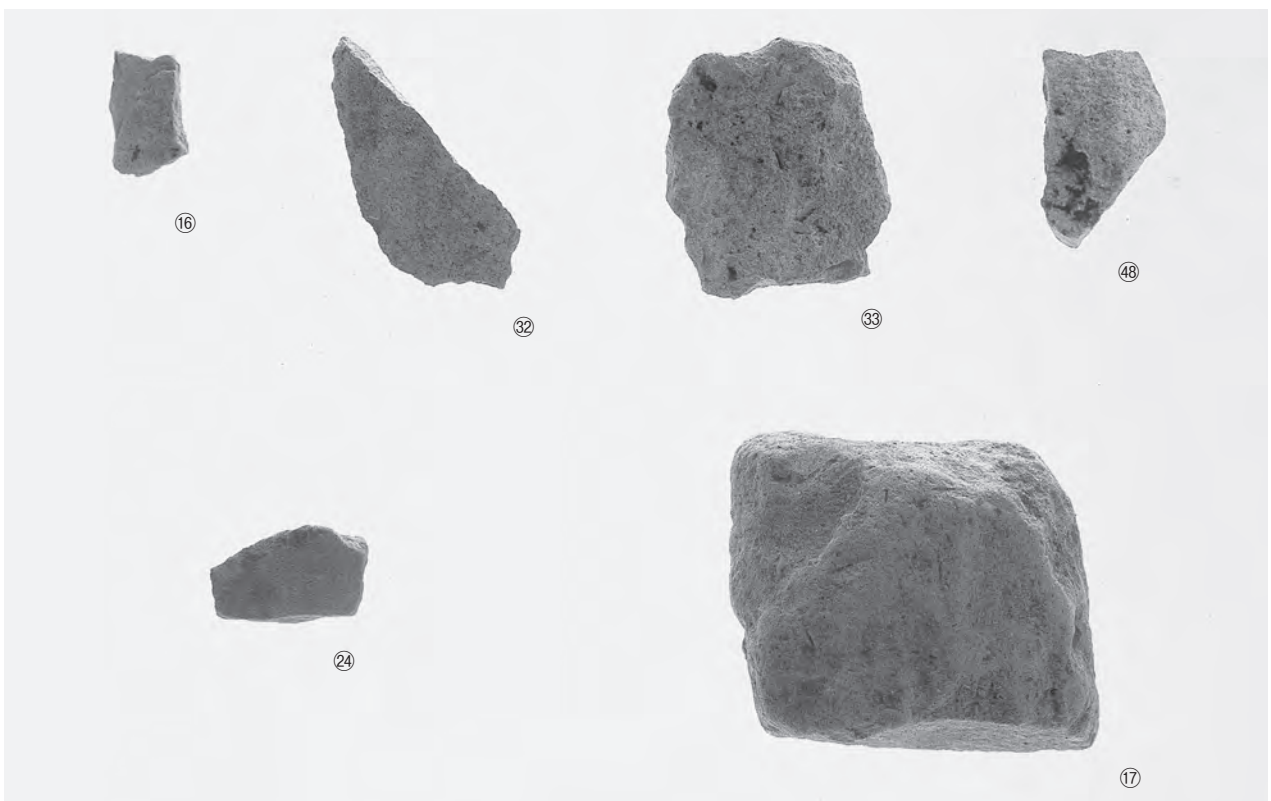


2. SS7鍛冶炉内出土炭化物



1. (上) SS7鍛冶炉内出土粒状滓

2. (下) SS7鍛冶炉内出土鍛造剥片・鍛冶滓



3. 鉄床石・砥石

報告書抄録

ふりがな	のつうばがだにだいにいせき							
書名	窺津乳母ヶ谷第2遺跡Ⅱ							
副書名	一般国道9号（東伯中山道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	XIX							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	15							
編著者名	小口英一郎、濱本 利幸、湯村 功、築谷 具成							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL (0857) 27-6711							
発行年月日	2007（平成19）年3月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のつうばがだにだいにいせき 窺津乳母ヶ谷第2遺跡	とっとりけんとうほくぐん 鳥取県東伯郡 ことうらちょうおおあざの 琴浦町大字窺 つあざあかさかだにびら 津字赤坂谷平 1087-11外	31371	133	35° 30' 28"	133° 36' 34"	20060614 ～ 20061212	8,914㎡	一般国道9号（東伯中山道路）の改築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
窺津乳母ヶ谷第2遺跡	集落	弥生時代後期	竪穴住居跡 土坑	弥生土器、石器、 鉄器	鍛冶工房1棟 数珠繋ぎ状態での玉類 出土			
		古墳時代 奈良時代	竪穴住居跡 段状遺構 掘立柱建物跡 鍛冶炉 土坑	土師器、須恵器、 石器、玉類、鉄器、 鉄滓、羽口、鉄 床石、炉壁				
	その他	時期不明	土坑		落し穴			
要約	<p>窺津乳母ヶ谷第2遺跡では弥生時代後期後葉、古墳時代前期初頭、古墳時代後期から奈良時代の集落が確認された。弥生時代後期から古墳時代前期までは丘陵尾根平坦地に集落を営み、古墳時代後期から奈良時代には丘陵斜面地へ移行する。斜面地では雛壇状に造成した段状遺構や掘立柱建物が築かれ、古墳時代後期の段状遺構床面からは数珠繋ぎ状態で玉類29点が出土し、1棟の鍛冶工房も検出された。本遺跡は集落立地や鍛冶工房の存在、玉類の保有など周辺遺跡と大きな相違点を持っており、古墳時代後期から奈良時代の東伯耆における集落構造や社会構造を探るための重要な成果を得た。</p>							

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 15

一般国道 9 号（東伯中山道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 XIX

鳥取県東伯郡琴浦町

笹津乳母ヶ谷第 2 遺跡 II

発 行 2007 年 3 月 30 日

編 集 鳥取県埋蔵文化財センター

〒 680-0151 鳥取市国府町宮下 1260 番地

電 話 (0857) 27 - 6711

発行者 鳥取県埋蔵文化財センター

印 刷 株式会社 矢谷印刷所